

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 4日更新

事務事業名	スクールバス運行管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	教育の健康		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 栗木 清智
	施策	9	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名 曾我 陽子
	施策の柱	36	義務教育施設の整備		所属班	学務指導班	(内線) 5326
予算科目	会計一般	款 10	項 1	目 2	事業連番 10051	根拠法令 合志市スクールバス運行管理規程	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	遠隔地児童(旧合志町の合志小学校区の一部)の登下校での送迎、学校関係行事でのバス使用及びスクールバス車両管理。昭和44年に遠隔地児童を対象に開始。また、中央小学校区の遠隔地児童に対しては、熊本電鉄による循環バスの中央小学校臨時便運行を行っていたが、平成29年度に終了することから、30年度以降は貸切バス業務委託で対応している。
【業務の流れ】	①車両始業点検→②遠隔地児童の送迎→③下校時の児童の送迎→④車両日誌の作成→⑤登下校時以外の学校行事関係のバスの使用の受付事務及びその運行 貸切バス運行事業者の選定、委託契約、運行報告の確認、委託料の支払い業務
【主な予算費目】	職員手当(時間外手当)、消耗品費、燃料費、車検整備代等修繕費、役務費、委託料、公課費
【意見や要望】	遠隔地から通っている児童の保護者から感謝されている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
合志小学校区の遠隔地児童の登下校の送迎及び学校関係活動による児童移動での送迎を行った。 西合志中央小学校通学バスを貸切バスで運行を行った。	前年度同様に合志小学校区の遠隔地児童の登下校での送迎及び学校関係活動による児童移動での送迎を行う。 中央小学校通学バスを業務委託で対応する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア 送迎日数	日 軽油使用量の実績に伴う減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志小学校校区及び中央小学校区の遠隔地児童及び市内児童生徒	ア 遠隔地児童数 人
	イ 市内児童生徒 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
安心・安全・確実に送迎する。	ア 安全・安心・確実に送迎できた割合 %
	イ
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠 市内児童生徒の安全な通学が本事業の最大の目的であるため。	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 日	190	203	210	203	210	210	210	210	
	イ									
② 対象指標	ア 人	178	179	200	180	200	200	200	200	
	イ 人	7,139	7,173	7,170	7,316	7,235	7,300	7,375	7,400	
③ 成果指標	ア %	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	9,407	9,821	11,477	10,259	11,410	10,396	10,396
		(A) 事業費計	千円	9,407	9,821	11,477	10,259	11,410	10,396	10,396
		(A)のうち指定経費	千円	3	12	0	0	25	22	0
		(A)のうち時間外、特別	千円	3	12	0	0	25	22	0
		人件費	人	6	3	3	3	3	3	3
(B) 人件費計	正規職員従事人数	人	6	3	3	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	1,640	1,302	1,620	1,302	1,620	1,620	1,620	
	(B) 人件費計	千円	6,466	5,090	6,454	4,955	6,454	6,454	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	15,873	14,911	17,931	15,214	17,864	16,850	16,850	10,396	

事務事業名	スクールバス運行管理事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 遠隔地児童の登下校での送迎及び学校活動による児童移動での送迎を安心・安全・確実にすることができる。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 合志小学校区限定での送迎の他、学校活動でも利用しており利用効率が高く、また、利用が学校活動に限定されていることから妥当である。 貸切バス運行により児童を安心・安全・確実に登下校できる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 子供たちを安全に登下校させるために必要な事業であり廃止はできない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 対象児童が増加傾向にあり、運送コストも上昇しているため削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小の人員で行なっており、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 対象となる児童が限定されているため、費用の一部に受益者負担を求める検討の余地はある。
	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 対象となる児童が限定されているため、費用の一部に受益者負担を求める検討の余地はある。

3 評価結果の総括 (CHECK)

遠隔地児童の登下校での送迎及び学校活動による児童移動での送迎を安全に行った。
--

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) 対象児童が増加し、運送コストも上昇しているため、事業の目標を達成するためには費用の増大は避けられない。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
削減			維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						